

人生を生き抜く神の知恵

ティモシー・ケラー

～三滝グリーンチャペル訳～

前半

<1月1日～6月30日>

God's Wisdom for Navigating Life

Timothy Keller

With Kathy Keller

畏れは恐れを消す

シリーズ～神の知恵～

2019/2/17

「神を知る」 2 / 8 ~ 3 / 23

主への畏れ

2 / 8 ~ 2 4

神の秩序に気づく

2 / 2 5 ~ 3 / 2

乱された神の秩序

3 / 3 ~ 1 2

隠された神の秩序

3 / 1 3 ~ 2 3

主への畏れ ①神を中心に 2/8

主を畏れることは知恵の初め。

無知な者は知恵をも論しをも侮る。(箴言1:7)

●「畏れ」とは

- 「罰を受けるかもしれないという恐れ」TK
- 「ある人を悲しませたり、名誉を傷つけることを恐れる**畏敬の念**」TK改

●主を畏れて生きるとは

- 主を人生の中心に据えて生きること
- 「神の御言葉を真実で疑いのない決定者」にする
 - ・ <反対>それ以外の何か(世論、あなた自身の気持ち、または人間の科学的推論)を決定者にする

主への畏れ ②恵みに感謝する 2/9

- 主を中心に据えると、神の恵みを体験する
 - 「驚くことに、主への畏れが増すと、より多くの恵みと赦しを体験することになります」TK
- 二つの間違った極端な神理解と正しい理解

| | |
|------------------------|-------------------------|
| ×道徳的に正しい人だけを受け入れる神 | 罰への卑屈なまでの恐れを呼び起こす |
| ×誰でも無条件に受け入れる神 | 暖かい愛情を感じるだけ |
| ○失われていた罪人を無償で救ってくださった神 | 喜びつつも畏敬に満ちた確信を罪人の中に生み出す |

主への恐れ ③深く変える 2/10

- 私たちはこの世の恐れに支配されている
 - 貧しさ・病気・失業・孤独・老い・死など
 - 恐れに駆り立てられて暮らしている
- 主への恐れはこの世の恐れを締め出す
 - 「体を殺しても、その後、それ以上何もできない者どもを恐れてはならない。」ルカ12:4
 - 必要なら主は全てを与えて下さる方である
- 主を畏れると、心から主に仕えるようになる
 - 「主を本当に畏れるならば、主への喜びと、深い感謝から仕える者となります」TK

主への畏れ ④神のみもとで安らぐ 2/11

主を畏れれば命を得る。満ち足りて眠りにつき
災難に襲われることはない。(箴言19:23)

- 主を畏れているとこの世の恐れから解放されて、
本当の平安が訪れる

- 「確かに問題はあなたからすべてを奪うことができますが、神を奪うことまではできません。したがって、**神があ**
なたにとってより大きな安心で、より深い安全で、世界
の他の何よりも強力な希望なら、あなたは何の問題も
恐れません。」TK
- 「問題の中で神に拠り頼むことは、この問題の中でしか
学ぶことのできない**霊的な技術を磨くこと**」TK

主への畏れ ⑤神を信頼する 2/12

主を畏れれば頼るべき砦を得

子らのためには避けどころを得る。(箴言14:26)

●主を畏れるとは神に信頼すること

- 「神に信頼するとは、私たちが好きか否かにかかわらず、神の意思に従うこと(1月23日)。…私たちが理解するか否かにかかわらず、神が私たち人生にもたらされるものを受け入れること」TK

●このような神への信頼は不落の要塞となる

- 自分の理性や才能は限界があり、指導者や愛する人はいなくなる>要塞は壊れ、無防備になる
- 「最大の畏れと究極の希望が、神とその愛ある賢明な計画であるとき、何ものも私たちに打ち倒すことはできない」TK

一時的な
要塞に頼
る

恐れ

貧しさ・病気・失
業・孤独・老い・
死など

恐怖から逃
れるために
生きる

常に不安
にさいな
まれる

好きなことも嫌いなことも、
理解できることもそうでな
いことも受け入れる

不落の城壁に
囲まれている

貧しさ・病気・
失業・孤独・
老い・死

主への 畏れ

創造主
全知全能
愛なる父

主に仕えるた
めに生きる

決して奪わ
れることのない
平安

祈り

- 主よ、ものごとがうまくいかない時、私はあなたにととても怒りを覚えます。私にはなぜあなたが私の壮大な人生の計画を応援して下さらないのか分かりません!しかし何と私は浅はかな者でしょう。私は、自分の計画があなたのものよりも正しく、より愛すべきものだ考えていたのです。悔い改めます。アーメン。
- 「御名を畏れ敬うことができるように、一筋の心をわたしにお与えください」(詩編86:11)。